



「シフト」特集



記事広告



地域連携

中日新聞・中日スポーツ 2020年年間テーマ 「シフト～未来をつくろう～」特集 スタート

シフト

COP10から10年 2020年、未来の環境を考える

地球環境問題解決は小さなことから始めるべきか？

「めくってえいばいふか」と、地球環境問題解決は小さなことから始めるべきか？

2020年のキーワード
シフト
未来をつくろう。

変化の時代、さまざまなモノやサービスが生まれ、環境問題が深刻化しています。その中で、未来を予測する能力が求められる。その中で、未来を予測する能力が求められる。その中で、未来を予測する能力が求められる。

国	削減率	削減率
日本	25%	25%
中国	40%	40%
米国	26%	26%
EU	40%	40%
インド	33%	33%
韓国	37%	37%
ブラジル	20%	20%
ロシア	13%	13%
インドネシア	26%	26%
南アフリカ	25%	25%
オーストラリア	26%	26%
ニュージーランド	25%	25%
メキシコ	30%	30%
パナマ	25%	25%
チリ	25%	25%
コロンビア	25%	25%
ペルー	25%	25%
ボリビア	25%	25%
エクアドル	25%	25%
ベネズエラ	25%	25%
キューバ	25%	25%
カニヤ	25%	25%
ニカラガ	25%	25%
ホンジュラス	25%	25%
エルサルバドル	25%	25%
グアテマラ	25%	25%
コスタリカ	25%	25%
パプアニューギニア	25%	25%
フィジー	25%	25%
ミクロネシア	25%	25%
モロコシ	25%	25%
エジプト	25%	25%
トルコ	25%	25%
イスラエル	25%	25%
カタール	25%	25%
クウェート	25%	25%
オマーン	25%	25%
サウジアラビア	25%	25%
アラブ首長国連邦	25%	25%
バーレーン	25%	25%
カタール	25%	25%
クウェート	25%	25%
オマーン	25%	25%
サウジアラビア	25%	25%
アラブ首長国連邦	25%	25%
バーレーン	25%	25%

いのちを育み、暮らしを支える。 三重の木とともに

三重の木を育て、暮らしを支える。三重の木を育て、暮らしを支える。三重の木を育て、暮らしを支える。

伐採
小さい頃から育てた木は、成長が速く、伐採後も再利用できる。

建築
住む人も作り手も幸せにする。自然素材の木材で家を建てる。

緑化
緑化の推進。環境に優しい緑化の推進。

地域連携
ふるさとへの山への貢献。地域の活性化に貢献する。

ココ・コーラシステムの 持続可能な容器への取り組み

日本のココ・コーラシステムは、2030年を目標とする2020年の目標を設定しています。この目標に向けて、私たちは持続可能な容器への取り組みを行っています。

バイオプラスチックの積極利用
バイオプラスチックの積極利用。環境に優しいバイオプラスチックの積極利用。

PETボトルの回収・リサイクル率
PETボトルの回収・リサイクル率。PETボトルの回収・リサイクル率の向上。

三重の木をふれて、三重の木を知るイベント

三重の木をふれて、三重の木を知るイベント。三重の木をふれて、三重の木を知るイベント。

フェス木バル
フェス木バル。三重の木をふれて、三重の木を知るイベント。

2/2日 10:00-18:00
2/9日 10:00-18:00

他にもたくさん楽しいイベント盛りだくさん!!

●三重の木にまつわる方々のご紹介 ●木造住宅PRコーナー

主催/三重県木材協同組合連合会
TEL:059-228-4715 http://mimokuren.com/

▲【シフト特集・第1弾】 2019年12月31日付 中日新聞朝刊

▲【シフト特集・第2弾】 2020年1月25日付 中日新聞朝刊 三重版

グローバル化・技術革新の進展により加速度的に変化する環境下にあって、いよいよ多くの企業が「シフト」しなければ生き残れない時代となりました。いままで当然のことと考えられていた認識や生活様式、社会全体の価値観などがまさに劇的に変わっています。

ダーウィンの進化論を借りれば、「最も強い者や最も賢い者が生き残る訳ではなく、最も変化に懸命だった者、最も環境変化に適応した者が生き残る」。

そこで中日新聞広告局は、2020年の年間テーマを「シフト」としました。2019年の年間テーマ「変わる」は制度やしくみ、世の中の変化を伝えてきました。一方で「シフト」は、変化する時代の中で能動的に適応していくこと、それをいざなうのが中日新聞でありたいと考えます。

これまでのトレンドが一気に転換する可能性を秘める2020年の一年間、「シフト」というキーワードで特集紙面を展開していきます。

名古屋本社 広告二部 緒方直晃